IF差分について

更改後に採用するAPIゲートウェイ製品の仕様により、外部システムとの連携に関するインターフェース（IF）について、現行環境から一部変更がございますので、以下のとおりご案内申し上げます。

項番	項目	差分内容	ご確認いただきたい事項
1	Content-Typeヘッダとリクエストボディの形式不一致時の応答変更	Content-Typeヘッダとリクエストボディの形式が一致しない場合の応答が変更となります。 現行：不一致であっても正常応答 更改：不一致と判断し、エラーを応答	Content-Typeヘッダに、実際のリクエストボディ形式に一致した値が設定されていること
2	ヘッダ名の大文字・小文字変更	レスポンスのDateヘッダのヘッダ名の出力形式が変更となる可能性があります。 現行：大文字を含む形式（Date） 更改：小文字形式（date）	Dateヘッダのヘッダ名の大文字・小文字に依存した処理を行っていないこと
3-1	項目の出力順変更（レスポンスデータ）	JSON形式レスポンスデータの項目出力順が変更となります。 現行：同一順序で出力 更改：出力順が保証されない（現行と異なる順序で出力される可能性がある）	レスポンスデータの各項目について、出力順序に依存した処理を行っていないこと
3-2	パラメータの出力順変更（Locationヘッダ）	レスポンスヘッダ<Location>に含まれるクエリパラメータの出力順が変更となります。 現行：同一順序で出力 更改：出力順が保証されない（現行と異なる順序で出力される可能性がある）	Locationヘッダに含まれるクエリパラメータについて、出力順序に依存した処理を行っていないこと

© 2026 NTT DATA Japan Corporation

影響API一覧

IF差分の各項番について、APIへの影響有無は以下のとおりです。（○：影響あり）

#	項目	影響API																
		API 連携認証	IDトークン公開鍵取得	ID 連携リダイレクト	アクセストークン取得・再発行	トークン失効	企業情報照会	利用者情報照会	ID 連携情報照会	ID 連携セッション再開	残高照会（全口座）	残高照会（口座指定）	入出金明細照会（ANSER）	入出金明細照会（全銀）	振込入金明細照会（ANSER）	振込入金明細照会（全銀）	EDI 情報照会	口座振替結果照会	口座振替手数料照会
1	Content-Typeヘッダとリクエストボディの形式不一致時の応答変更																		
2	ヘッダ名の大文字・小文字変更		○				○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-1	項目の出力順変更（レスポンスデータ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-2	パラメータの出力順変更（Locationヘッダ）	○																	

※各金融機関個別のAPIについては、各金融機関にご確認ください。

© 2026 NTT DATA Japan Corporation

影響API一覧

IF差分の各項番について、APIへの影響有無は以下のとおりです。（○：影響あり）

#	項目	影響API												
		総合振込依頼データ登録	給与・賞与振込依頼データ登録	振込振替依頼データ登録	口座振替依頼データ登録	総合振込依頼データ照会	総合振込依頼データ一覧照会	給与・賞与振込依頼データ照会	振込振替依頼データ照会	口座振替依頼データ照会	総合振込依頼データ承認	振込振替依頼データ承認	振込振替依頼データ実行	口座振替依頼データ承認	OpenID Provider メタデータ取得
1	Content-Typeヘッダとリクエストボディの形式不一致時の応答変更	○	○	○	○						○	○	○	○	
2	ヘッダ名の大文字・小文字変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-1	項目の出力順変更（レスポンスデータ）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-2	パラメータの出力順変更（Locationヘッダ）														

※各金融機関個別のAPIについては、各金融機関にご確認ください。

© 2026 NTT DATA Japan Corporation

項番1　Content-Typeヘッダとリクエストボディの形式不一致時の応答変更

差分	Content-Typeヘッダとボディの形式が一致しない場合、現行は正常応答しますが、更改後はContent-Typeヘッダの値をチェックしたうえでボディを取得するため、エラーを応答します
影響	Content-Typeヘッダに設定された値と、実際のリクエストボディ形式が一致していない場合、更改環境においてはエラーとなります
確認観点	API連携時に、**Content-Typeヘッダに実際のリクエストボディ形式に一致した値が設定されていること**をご確認ください

差分詳細

Content-Typeヘッダとボディの形式が不一致である場合の挙動が以下に変更となります

現行　応答：**不一致でも正常応答**

更改　応答：**不一致と判断し、エラー応答**

例）**Content-Typeヘッダとボディの形式が一致しないリクエスト例**
総合振込依頼データ登録APIの場合のリクエスト
（事業者様システム→API管理基盤）イメージ

```
--[header]-----------------------------
Content-Type:application/x-www-form-urlencoded
--[body]-------------------------------
{
  "client_id": "44444444",
  "auto_manual_mode": "auto",
  "contractor_id": "00000000000000000AG0123456789A001",
  ...
}
```

Content-Typeヘッダ：
form-urlencoded

ボディ：
JSON形式
→不一致

© 2026 NTT DATA Japan Corporation

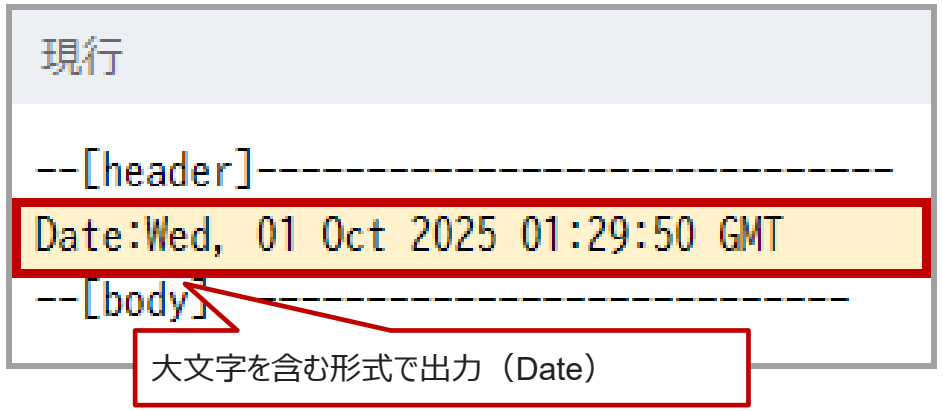
項番2　ヘッダ名の大文字・小文字変更

差分	API連携事業者様へのレスポンスにおいて、Dateヘッダのヘッダ名が、現行の大文字を含む形式（Date）から、更改後は小文字形式（date）で出力される可能性があります
影響	Dateヘッダのヘッダ名の大文字・小文字を区別して処理している場合、ヘッダ情報を正しく取得できない可能性があります
確認観点	**Dateヘッダのヘッダ名について、大文字・小文字に依存した処理を行っていないこと**をご確認ください

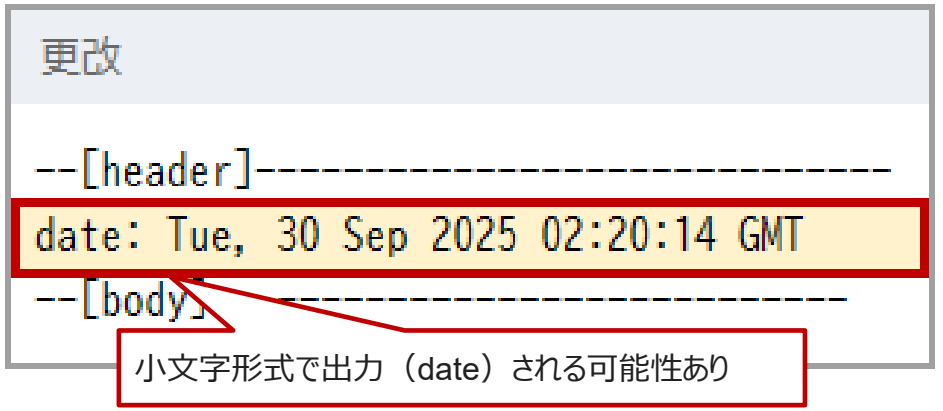
差分詳細

例）**レスポンスデータ（API管理基盤→事業者様システム）イメージ**　：　総合振込依頼データ承認APIの場合

現行



更改



© 2026 NTT DATA Japan Corporation

項番3-1　項目の出力順変更（レスポンスデータ）

差分	JSON形式のレスポンスデータについて、現行ではデータ項目が一定の順序で出力されますが、更改後は出力順序が保証されなくなります
影響	各項目の出力順序に依存した処理を行っている場合、レスポンスデータを正しく処理できない可能性があります
確認観点	**レスポンスデータの各項目について、出力順序に依存した処理を行っていないこと**をご確認ください

差分詳細

例）**レスポンスデータ（API管理基盤→事業者様システム）イメージ**　：　企業情報照会APIの場合

現行

現行

```
--[body]------------------------------
{
  "target_service": "10",
  "approval_pattern_type": "no_approval",
  "approval_pattern_decided_amount": null,
  "approver_info": [],
  "operator_info": [],
  "fee_of_beneficiary_type": "0",
  "beneficiary_name_input_enabled": false,
  "transfer_count": null,
  "maximum_transfer_count": null
}
```

同一順序で出力
（順序が保証される）

更改

更改

```
--[body]------------------------------
{
  "target_service": "10",
  "approval_pattern_type": "no_approval"
  "fee_of_beneficiary_type": "0",
  "beneficiary_name_input_enabled": fals
  "maximum_transfer_count": null,
  "transfer_count": null,
  "approver_info": [],
  "operator_info": [],
  "approval_pattern_decided_amount": null
}
```

出力順が保証されない
（現行と項目順が
異なる可能性あり）

© 2026 NTT DATA Japan Corporation

項番3-2　パラメータの出力順変更（Locationヘッダ）

差分	レスポンスのLocationヘッダに含まれるクエリパラメータの出力順が、現行ではデータ項目が一定の順序で出力されますが、更改後は出力順序が保証されなくなります
影響	Locationヘッダに含まれるクエリパラメータの出力順序に依存した処理を行っている場合、パラメータを正しく処理できない可能性があります
確認観点	**Locationヘッダに含まれるクエリパラメータについて、出力順序に依存した処理を行っていないこと**をご確認ください

差分詳細

例）**Locationヘッダ（API管理基盤→事業者様システム）イメージ**　：　API連携認証

現行

現行

```
--[header]------------------------------
Location:http://172.18.9.5:9101/0010n/oauth/auth?response_type=code&client_id=11111111&redirect_uri=http://client.example.com:cb&approvaldiv=2&balance_inquiry_use=0&account_activity_use=0&account_activity_zengin_use=0&transfer_payment_use=0&transfer_payment_zengin_use=0&… （以下略）
--[body]-------------------------------
```

同一順序で出力
（順序が保証される）

更改

更改

```
--[header]------------------------------
Location: http://172.17.3.140:30019/bizsol-simulator//0010oauth/auth?client_id=11111111&approvaldiv=2&response_type=null&redirect_uri=http://client.example.com:cb&account_activity_zengin_use=0&balance_inquiry_use=0&account_activity_use=0&transfer_payment_use=0&transfer_payment_zengin_use=0&… （以下略）
--[body]-------------------------------
```

出力順が保証されない
例：response_type
の位置が変わる

© 2026 NTT DATA Japan Corporation